

平成28年12月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成28年5月12日

上場会社名 株式会社モブキャスト 上場取引所 東  
 コード番号 3664 URL http://mobcast.co.jp/  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 藪 考樹  
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理本部長 (氏名) 佐武 利治 TEL 03(5414)6830  
 四半期報告書提出予定日 平成28年5月13日 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有  
 四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・証券アナリスト向け)

1. 平成28年12月期第1四半期の連結業績 (平成28年1月1日～平成28年3月31日)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
28年12月期第1四半期	856	0.8	15	—	△13	—	△13	—
27年12月期第1四半期	848	△23.3	△50	—	△56	—	△55	—

(注) 包括利益 28年12月期第1四半期 1百万円 (—%) 27年12月期第1四半期 △53百万円 (—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
28年12月期第1四半期	△0.94	—
27年12月期第1四半期	△3.88	—

(注) 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益については、潜在株式は存在するものの1株当たり四半期純損失であるため記載しておりません。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
28年12月期第1四半期	2,675	969	35.2
27年12月期	2,963	967	31.6

(参考) 自己資本 28年12月期第1四半期 941百万円 27年12月期 935百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
27年12月期	—	0.00	—	0.00	0.00
28年12月期	—	—	—	—	—
28年12月期(予想)	—	—	—	—	—

(注) 平成28年12月期の配当予想につきましては、現在未定です。

3. 平成28年12月期の連結業績予想 (平成28年1月1日～平成28年12月31日)

当社グループ(当社及び連結子会社)が属する業界は、事業環境の変化が激しく、かつ、新規タイトルについて不確実性が高いことから、適正かつ合理的な数値の算出が困難であるため、四半期ごとに実施する決算業績及び事業の概況のタイムリーな開示に努めるものの、連結業績予想については開示しない方針です。

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動） : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

- ① 期末発行済株式数（自己株式を含む）
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数（四半期累計）

28年12月期 1 Q	14,621,808株	27年12月期	14,596,808株
28年12月期 1 Q	一株	27年12月期	一株
28年12月期 1 Q	14,613,566株	27年12月期 1 Q	14,316,309株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表に対するレビュー手続はしていません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、決算短信（添付資料）2ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

（決算補足説明資料の入手方法）

決算補足説明資料は、T D n e t で同日開示しております。また、当社は、平成28年5月12日（木）に機関投資家・証券アナリスト向け説明会を開催する予定です。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 連結経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	2
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項 .....	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 .....	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 .....	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 .....	3
3. 四半期連結財務諸表 .....	4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	5
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間 .....	5
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間 .....	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	7
(継続企業の前提に関する注記) .....	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	7
(セグメント情報等) .....	7
(重要な後発事象) .....	7

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 連結経営成績に関する説明

モバイルインターネット市場は、スマートフォンの急激な普及期を超えインターネットが生活インフラとなり、当社グループが属するモバイルゲーム市場も成熟期を迎えつつあります。また、平成27年の日本におけるゲーム市場は約1兆4,760億円(約123億ドル)であり、平成26年から平成30年にかけて約1.2%拡大するものと見込まれており、その市場規模のうち約半分をモバイルゲームが占めるとされております(平成27年Newzoo社調べ)。

このような事業環境の下、当社グループは、前連結会計年度に引き続き、自社運営モバイルプラットフォーム「m o b c a s t」の機能強化と、モバイルゲームの開発と運営、及び海外事業の推進に取り組みました。ネイティブアプリゲームとしては、平成27年3月に配信を開始した「18 キミト ツナガルパズル」の機能改修と運営強化に取り組むとともに、アニメIP(著作権等)、声優、Youtuberとのコラボレーションによるゲーム内イベント実施による既存ユーザーの継続率維持及び新規ユーザーの獲得施策等を実施いたしました。ブラウザゲームにつきましては、当社のヒットタイトルである「モバプロ」において、プロ野球シーズンの開幕に合わせ、より多くの方に遊んでいただけるよう大規模改修を実施いたしました。また、外部デベロッパー製コンテンツとしては、株式会社Arc製「戦国姫神ワルキュリエ」、株式会社マーベラス製「閃乱カグラ NewWave Gバースト」等計3本のタイトルを配信いたしました。さらに、海外事業として、上述の自社開発タイトル「18 キミト ツナガル パズル」の北米地域配信に係るライセンスアウト契約をGame Samba社(米国ワシントン州)と締結いたしました。

以上の結果、当第1四半期連結累計期間の売上高は、前年同四半期と比較し7,210千円増加の856,096千円(前年同四半期比0.8%増加)となりました。

一方、当第1四半期連結累計期間においては、前連結会計年度末に実施した「18 キミト ツナガル パズル」のテレビCMの効果が当第1四半期連結累計期間中も及んだことから広告宣伝費を抑えプロモーションを展開できたこと、また、効率的な運営体制の構築等のコストコントロールに努めた結果、営業利益は15,602千円(前年同四半期は営業損失50,185千円)となりました。

さらに、営業外収益として還付加算金1,185千円等、また、営業外費用として当社が保有する外貨建て売掛債権等を当第1四半期連結会計期間末の為替レートで評価したことによる為替差損27,538千円等を計上した結果、経常損失は13,205千円(前年同四半期は経常損失56,718千円)、親会社株主に帰属する四半期純損失は13,777千円(前年同四半期は親会社株主に帰属する四半期純損失55,566千円)となりました。

## (2) 財政状態に関する説明

## (資産)

当第1四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末より287,903千円減少し、2,675,460千円となりました。主な内訳は「現金及び預金」が95,670千円及び「売掛金」が200,926千円減少したことによるものであります。

## (負債)

当第1四半期連結会計期間末の負債は、前連結会計年度末より289,293千円減少し、1,706,190千円となりました。主な内訳は「短期借入金」が200,000千円増加し、「未払金」が356,784千円及び「長期借入金」が94,901千円減少したことによるものであります。

## (純資産)

当第1四半期連結会計期間末の純資産は、前連結会計年度末より1,389千円増加し、969,270千円となりました。主な内訳は「為替換算調整勘定」が14,954千円増加し、「利益剰余金」が13,777千円減少したことによるものであります。

## (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成28年12月期につきましては、引き続き、自社ゲームの既存コンテンツをより多くのユーザーに楽しんでもらえるような運営及び追加開発を行ってまいります。ネイティブアプリゲームに関しましては、新規タイトルを複数本配信する予定です。モバイルプラットフォーム「m o b c a s t」においては、既存タイトルの大幅ア

アップデート及び外部デベロッパー製のソーシャルゲームを順次配信することで、会員数と売上の増加を図ってまいります。海外展開としては、自社開発ネイティブアプリゲームのライセンスアウト、海外パートナー企業とのゲームの共同開発、並びにライセンスインを積極的に進めてまいります。また平成28年度においては、昨年契約したライセンスアウト案件、共同開発案件の海外及び国内での配信も開始される予定です。

以上を踏まえた平成28年12月期の売上及び利益予想に関しましては、当社グループが属する市場が、事業環境の変化が激しく、かつ、新規タイトルについての不確実性が高いことから、適正かつ合理的な数値の算出が困難であるため、四半期毎に実施する決算業績及び事業の概況のタイムリーな開示に努めるものの、連結業績予想については開示しない方針です。

## 2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

### (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

### (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

### (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

(会計方針の変更)

(企業結合に関する会計基準等の適用)

「企業結合に関する会計基準」(企業会計基準第21号 平成25年9月13日。以下「企業結合会計基準」という。)、 「連結財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第22号 平成25年9月13日。以下「連結会計基準」という。)及び「事業分離等に関する会計基準」(企業会計基準第7号 平成25年9月13日。以下「事業分離等会計基準」という。)等を当第1四半期連結会計期間から適用し、支配が継続している場合の子会社に対する当社の持分変動による差額を資本剰余金として計上するとともに、取得関連費用を発生した連結会計年度の費用として計上する方法に変更しております。また、当第1四半期連結会計期間の期首以後実施される企業結合については、暫定的な会計処理の確定による取得原価の配分額の見直しを企業結合日の属する四半期連結会計期間の四半期連結財務諸表に反映させる方法に変更しております。加えて、四半期純利益等の表示の変更及び少数株主持分から非支配株主持分への表示の変更を行っております。当該表示の変更を反映させるため、前第1四半期連結累計期間及び前連結会計年度については、四半期連結財務諸表及び連結財務諸表の組替を行っております。

企業結合会計基準等の適用については、企業結合会計基準第58-2項(4)、連結会計基準第44-5項(4)及び事業分離等会計基準第57-4項(4)に定める経過的な取扱いに従っており、当第1四半期連結会計期間の期首時点から将来にわたって適用しております。

これによる損益に与える影響はありません。

## 3. 四半期連結財務諸表

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位:千円)

	前連結会計年度 (平成27年12月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成28年3月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	1,578,656	1,482,986
売掛金	758,024	557,097
その他	139,380	101,155
貸倒引当金	△233	△274
流動資産合計	2,475,827	2,140,965
固定資産		
有形固定資産	52,416	51,097
無形固定資産		
ソフトウェア	146,028	133,913
ソフトウェア仮勘定	92,888	158,905
その他	2,817	3,092
無形固定資産合計	241,733	295,911
投資その他の資産	193,386	187,486
固定資産合計	487,536	534,495
資産合計	2,963,363	2,675,460
<b>負債の部</b>		
流動負債		
短期借入金	—	200,000
1年内償還予定の社債	100,200	100,200
1年内返済予定の長期借入金	637,625	597,794
未払金	644,321	287,537
未払法人税等	—	2,666
その他	157,316	207,736
流動負債合計	1,539,463	1,395,933
固定負債		
社債	99,600	49,500
長期借入金	341,763	246,862
繰延税金負債	14,657	13,894
固定負債合計	456,020	310,256
負債合計	1,995,483	1,706,190
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	983,300	985,400
資本剰余金	932,963	935,063
利益剰余金	△1,001,491	△1,015,268
株主資本合計	914,772	905,195
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	30,720	31,483
為替換算調整勘定	△10,038	4,916
その他の包括利益累計額合計	20,682	36,400
新株予約権	32,425	27,675
純資産合計	967,880	969,270
負債純資産合計	2,963,363	2,675,460

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成27年1月1日 至平成27年3月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成28年1月1日 至平成28年3月31日)
売上高	848,885	856,096
売上原価	493,072	433,038
売上総利益	355,813	423,057
販売費及び一般管理費	405,999	407,455
営業利益又は営業損失(△)	△50,185	15,602
営業外収益		
受取利息	251	192
還付加算金	—	1,185
その他	200	517
営業外収益合計	451	1,895
営業外費用		
支払利息	2,935	2,190
為替差損	1,225	27,538
株式交付費	2,022	50
その他	801	923
営業外費用合計	6,984	30,702
経常損失(△)	△56,718	△13,205
特別利益		
新株予約権戻入益	7,564	—
特別利益合計	7,564	—
税金等調整前四半期純損失(△)	△49,153	△13,205
法人税、住民税及び事業税	200	572
法人税等調整額	6,212	—
法人税等合計	6,413	572
四半期純損失(△)	△55,566	△13,777
親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△55,566	△13,777

(四半期連結包括利益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成27年1月1日 至平成27年3月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成28年1月1日 至平成28年3月31日)
四半期純損失(△)	△55,566	△13,777
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	—	762
為替換算調整勘定	2,338	14,954
その他の包括利益合計	2,338	15,717
四半期包括利益	△53,227	1,939
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△53,227	1,939

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

当社グループの事業は、モバイルゲーム事業及びソーシャルマーケティング事業がありますが、モバイルゲーム事業以外の事業の重要性が乏しいと考えられるため、セグメント情報の記載を省略しております。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。